

京都ボランティア協会2016年度事業計画

目次:

<事業>

1 【ボランティアコーディネート事業】	…2ページ
2 【交流・援助事業】	…2ページ
3 【広報事業】	…3ページ
4 【研修事業】	…3ページ
5 【研究事業】	…4ページ
6 【地域福祉推進事業】	…4ページ
7 【評価・調査を通じ社会福祉を推進する事業】	…4ページ
8 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】	…5ページ

<組織・運営>

1 【組織・運営体制整備】	…5ページ
---------------	-------

< 事業 >

【1. ボランティアコーディネーター事業】

事業項目	事業目的	事業内容
ボランティアコーディネーターの実施 在宅でのボランティア活動 グループ活動(協会内外) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の啓発と推進 ・地域で困難を抱える人たちとのボランティア活動を通じての交流、ひいては社会貢献 ・ボランティア登録者継続と増加を推進。特に在宅生活者の依頼に応える、寄り添うボランティアの増加をはかる。 ・地域資源の把握(新たなボランティア活動先、受入先の開拓など) 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティア相談(ボランティア活動希望者およびボランティア依頼者からの相談) ②相談業務等から見える生活・福祉ニーズの把握と分析 ③ボランティア学習会・研修会等の実施 ④ボランティア登録者の増員と交流 ⑤ボランティアコーディネーター事業体制の整備 ⑥京都市福祉ボランティアセンターとの連携 ⑦介護保険制度改革に対応する勉強会など ⑧「きょうボラ」発行(年4～5回)※広報に再掲 ⑨大学・地域等への事業紹介等広報活動の実施

【2. 交流・援助事業】

事業項目	事業目的	事業内容
第9回きょうボラふれあい祭開催 会場・日程 未定 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアスタッフの人材発掘と育成。 ・ボランティア、関係団体、企業その他との交流、連携推進。 ・新たな活動の創造・発信。 ・ボランティア中心に、祭準備段階から企画・運営を参加団体と事務局が連携強化して行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> 「きょうボラふれあい祭」企画内容変更、運営、作業ボランティア募集！！ </div>	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティアスタッフ等の募集と学習会 ②実行委員会の設置(企画・運営) ③祭のホームページの管理 ④バザー物品、抽選物品の確保 ⑤広報の充実(パンフレット・ちらし他) ⑥きょうボラふれあい祭の開催 ⑦祭記録・報告書の作成
サロン活動 「ねこのてさろん」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な興味や関心を持つ人たちとの交流を通じた「居場所」や仲間づくり。大徳寺分室「おしゃべりカフェ」継続 ・多様なメニュー企画立案作りによる人材及び団体交流。 ・お互い様精神復活。 	<ol style="list-style-type: none"> ①単発活動企画の年間計画化 ②居場所機能の活性化:メンバー募集、仲間作り ③活動グループ化、自主運営化

通年・継続	「ねこのてさろん」企画・運営 ボランティア募集！！	④新規グループ作り(2015年度 朗読サークル他)
ウエスグループへの支援 「おしゃべりカフェ」居場所づくり 通年	・活動歴27年近いグループであり、協会活動の支援者である。メンバーの高齢化により、活動の継続を目的に支援する。 ・居場所づくり	①ウエス作業支援(ウエス販売含む) ②ミニバザーの実施支援 ③ウエスグループ&「おしゃべりカフェ」居場所づくりの場の充実 ④ウエスグループスタッフによる諸団体の啓発活動への参加・協力・支援(京都市・共同募金居場所の助成金あり)
通年・継続		

【3. 広報事業】

事業項目	事業目的	事業内容
「ボランタス」他広報事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランタス」「きょうボラ」他媒体による情報提供と発信。 ・ホームページにて情報の公表を行い広く市民への広報活動。 ・「ボランタス」「きょうボラ」他広告の掲載を募る情報提供と発信。 ・ボランタスの広告掲載 	「ボランタス」発行(年4～5回) 「きょうボラ」発行(年4～5回) ・京都市福祉ボランティアセンター「ボランターズ」毎月掲載依頼 ・京都新聞社会福祉事業団の掲載依頼 ホームページ管理・充実

【4. 研修事業】

事業項目	事業目的	事業内容
華頂高等学校ボランティア講座への講師派遣 後期・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に行われているボランティア活動を学び、これらの活動を通し、気づき、感じ、共感する心を育む。 ・身近な地域での福祉活動や、高齢者・障害者・児童領域で抱えている課題を学ぶ。 ・ボランティア養成講座「心の栄養支援養成連続講座」「障害編」の継続 	高等学校1年生の総合学習の一環として「ボランティア講座」を担当する。ボランティア活動の基本的精神や意義、取組みや課題を学び、ボランティア活動に親しむ。認知症、障害者や家族・地域が抱える生活課題を理解し、支援のための活動を当事者や支援団体から学び、体験や交流を通し、ボランティア活動への関心や動機づけに繋げる。
高齢者・障がい者・こども分野講座実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域で求められるボランティア像を知り、実践や体験活動を取り入れ、人材発掘の機会を増やす。 ・各領域の課題を学び、ボランティアグループ、NPO団体との連携を図る。 ・「心の栄養支援ボランティア養成講座」の継続(2014年度～) 介護予防支援、障害者支援、在宅障害支援など ・急速に進む高齢化社会に伴い、社会問題化している認知症患者の急増等に対応する新しい社会福祉施策・サービスを共に考えていく講座を開講する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動にあたって知識・技術を身につける講座・研修。 ・各領域の現場で当面している課題を現場から学ぶ。 ・ボランティア研鑽とボランティア同士の交流、特に福祉領域のボランティア活動者の敷居を低くし、互いに支えあう活動を増やす。 ・地域生活で求められているボランティアを知る機会。 ・在宅生活を豊かにすることをお手伝いできるボランティアを知り、実践や体験活動を取り入れた内容の講座づくり。 ・新しい講座「認知症にやさしいまちづくり」を開講する。

ワタキューグループ新入社員研修 (5/11～5/23)6年目 福祉施設ボランティア体験講座の企画・講師派遣	・ボランティア精神を学び、座学や体験活動を通じての「人間力」育成。 ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	・ボランティア活動の意義を知り、実際に体験活動を通じて現場の職員や当事者と接する機会を通じて交流する。 ・社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会の提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)。 ・ボランティア活動や講座の情報提供や発信。
---	---	--

【5. 研究事業】

事業項目	事業目的	事業内容
新規事業に関する調査研究	・京都市マーケット回収事業は、4年前から実施している。手軽に出来るボランティア、だれでも出来るエコ・リサイクル活動である。地域住民に社会貢献活動の啓発や就労支援の活動(障害者とともに)として研究課題(京都市の助成金交付対象)。 ・ボランティアビューローのサロン事業の活動(認知症やひきこもりなどの予防)	・京都市マーケット回収(ゴミ減量推進活動) 京都市では、「ごみ量をピーク時の半以下まで減らす」という目標を掲げています。 古紙・古着等は、地域の集団回収(コミュニティ回収)を奨励している。 減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。 ・地域の高齢者や障害者が手軽に来れるサロン(例:趣味・お話し相手等)で認知症やひきこもりなどの予防。(交流事業再掲)
セルフヘルプグループ(SMGという)センターの京都版の設立をめざす	2013年度より実施している事業である、交流やボランティア活動や「仕事」(就労を含む)の機会を通して自分を高めていく「居場所」作りを進めていくこと	・ひきこもり、発達障がいのある当事者の「自己実現」につなげる支援を行う。何かしたい働きたい、「自立したい」という当事者の支援を行う。 ・引き続き行政や共同募金会・オムロン国際基金他助成金申請予定。 ・障害支援講座など開催

【6. 地域福祉推進事業】

事業項目	事業目的	事業内容
災害支援活動	「京都からできること」人的支援・物的支援等後方支援をする	主に募金活動など

【7. 評価・調査を通じ社会福祉を推進する事業】

事業項目	事業目的	事業内容
地域密着型外部評価事業の充実 通年・継続	・質の高い評価を目指す。 ・公平・公正な調査を目指す。 ・地域における社会福祉の推進 介護や福祉サービスの質を高め、広く市民の介護・福祉サービスの選択に資することに携わる活動です。介護保険制度や事業に関心と、理解を深めること。事業の重要性に鑑み、引き続き取り組んでいく。	・実質稼働できる評価員の増員 ・評価者の研修体制の充実

介護サービス第三者評価事業の充実 通年・継続	<p>・協会が評価事業を実施する目的は、単なる収益のみでなく、利用者との関わりの中で得た経験と知識は他の組織にはない独自固有のものである。標準化された評価に加えての助言や情報提供ができる。ボランティア活動の事業を支えるための重要な財源でもある。</p> <p>公</p>	<p>・評価員の増員</p> <p>・評価者の研修体制の充実</p>
福祉サービス第三者評価事業の充実 通年・継続		<p>・評価員の増員</p> <p>・評価者の研修体制の充実</p>
評価・調査事業の管理・運営体制の整備		<p>・効率的な事務運営</p> <p>・評価・調査機関としての事務体制の整備</p>

【8. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

事業項目	事業目的	事業内容
企業・労働組合との協働と交流	<p>・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。</p>	<p>①協会事業(祭等)への参加および企画等への参画。</p> <p>②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会の提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)。</p> <p>③ボランティア活動や講座の情報提供や発信。</p>
災害支援活動		

<組織・運営>

【1. 組織・運営体制整備】

事業項目	事業目的	事業内容
組織基盤の強化	<p>・会員増員・確保に取組み組織基盤を強化する。(賛助会員の拡大)</p>	<p>①会員拡大委員会の設置</p> <p>②イベント等参加団体・者への会員案内・勧誘</p> <p>③各新聞社・関係団体の広報媒体の活用</p> <p>④理事、会員との交流の機会を設ける</p>
運営体制の整備	<p>・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制を整える。</p>	<p>①事務体制の強化と、迅速な事務遂行</p> <p>②事務局体制の整備(人員の補強)</p> <p>③理事、事務局ボランティアスタッフの検討、事務局員との連携の強化</p> <p>④ボランティアスタッフ研修会の実施</p>

		⑤評価・調査事業の管理・運営体制の整備 (再掲)
ボランティアビューロー・3階の京都市 福祉ボランティアセンターの一部の管 理・運営	・有効な管理運営をし、友好的で開放的な場を目指す。 ・2015年度からボランティアビューローについては、午前9時～午 後9時30分まで会館(休館日 年末年始・第3火曜日のみ)日祭日 は午前9時～午後5時まで)	①利用状況の把握・管理 ②広報物の掲示・整理 ③事務局ボランティアスタッフの拡充(2015年より)
財源の確保	・財源確保による安定的事業運営。	①助成金の確保 CSR促進の企業との事業を促進) ②ボランティア団体賠償保険の加入勧誘 ③会員拡大